

エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

環境大臣 西村 明宏 殿

2023年8月4日

アスクル株式会社

代表取締役社長 CEO 吉岡 晃

アスクル株式会社は、『仕事場とくらしと地球の明日に「うれしい」を届け続ける。』というパーパスのもと、環境保全や社会課題解決を考えたサステナブルなサービス「エシカル e コマース」のご提供を目指しています。持続可能な社会の実現に向け、お客様、社会、地球環境にとって、「最適」で「ローコスト」な「エコプラットフォーム」を構築していきます。原材料調達からお客様への商品のお届けまでサプライチェーン全体での CO2 削減を目指す「2050 年ネットゼロ」に向け、新たな技術・イノベーションの力を推進力として、以下の各取り組みを推進してまいります。

1. 脱炭素社会の実現のため、2050 年までにネットゼロを目指します。

- **【短期目標】** 2030 年度までに、1.5°C未満を達成するため、スコープ1+2の GHG 排出量を 88%削減、スコープ3は、SBT 目標に応じた GHG 排出量の削減に取り組みます。(2021 年比)
- **【長期目標】** 2050 年度までに、サプライチェーン全体でネットゼロを目指します。
- 自社の製品の GHG 排出量を定量的に把握し、削減に取り組み、サプライヤー・顧客に積極的に削減効果についての情報提供・啓発を行います。

●短期目標達成のために以下のことに取り組みます。

○スコープ1における CO2 削減

- ・2017 年 EV100 加盟。2030 年までに自社グループ所有またはリースの車両を 100%電気自動車に更新
- ・配送における物流拠点の最適配置、AI の導入・活用を通じた配送経路最適化の取り組み
- ・お客様の複数注文をまとめて 1 回で配送する「荷まとめ」や「置き配」による配達回数の削減による CO2 の削減

○スコープ2における CO2 削減

- ・2017 年 RE100 に加盟。2030 年までに、アスクルグループ全体に再生可能エネルギーを 100% 導入
- ・新設の物流センターには LED 設置、省エネの設備を導入

○スコープ3における CO2 削減

- ・約 90%のサプライヤーに SBT 準拠の目標策定を依頼し、サプライヤーエンゲージメントに取り組む
- ・一次データによる商品の CO2 排出量を算定し、商品の仕入れ・調達、開発における商品 CO2 を削減

- ・商品の CO2 排出量を定量的に把握し、サプライヤー・顧客に積極的に削減効果についての情報提供・啓発を実施
- ・サプライヤーとの連携による商品調達における CO2 排出量データ把握、積載率向上や輸送回数の削減、モーダルシフトや調達ルートの改善などを通じた物流の効率化
- ・省エネ商品の採用により、使用時の CO2 排出量の削減

●長期目標達成のために以下のことに取り組みます。

- スコープ 1 + 2 は 100%削減
- スコープ 3 は 90%削減、残りは中和

●TCFD に準拠したガバナンス、戦略、リスクおよび機会、指標・目標の開示に取り組みます。

●SBT ネットゼロの認証を取得します。

2. 循環型社会の実現・形成に向けた取り組みを積極的に推進します。

■プラスチック資源循環戦略に則り、サプライヤーを巻き込み、自社が取り扱うプラスチック製品に関して、3R+Renewable への取り組みを進めます。

■容器のリユースモデルを構築し、プラスチックのリユースに取り組みます。

- 自社独自の「アスクール商品環境基準」における資源循環項目に合致する商品の取り扱い拡大（リユース・リサイクル可能なデザイン、軽量化、単一素材、再生材、バイオマスプラスチック素材の採用）
- 2025 年 5 月期にプラスチック容器のリユースモデルを構築し、本格的にサービスを開始します。

3. 自然との共生の実現に向けた取り組みを積極的に推進します。

■森林保全のための植林、自然林の修復に関する取り組みを推進します。

- ・コピー用紙の持続的調達のためにインドネシアでの産業植林を推進する「1 box 2 trees」活動の継続的な展開
- ・お客様への植林証明書の発行
- ・自社、および国内のグループ会社等の事業と関係性の強い地域における植林活動を推進するための定量的な目標を 2025 年 5 月期までに制定

■海洋プラスチック汚染問題の対策に関する取り組みを推進します。

- ・プラスチック商品（寄付つきゴミ袋）の売上の 3%を地方自治体（長崎県対馬市）に寄付し、対馬市海岸漂着物等地域対策事業に活用。アスクールは当事業に参加し毎年 600 kgの海洋プラスチックごみの回収を目標とする。

■環境配慮型商品の企画・販売を推進します。

- ・FSC・PEFCなどの森林認証商品、レインフォレスト商品の取り扱い拡大とお客様への情報提供・購入支援
- ・グリーン購入法適合商品、エコマーク商品、エコ商品ねっと掲載商品等のグリーン商品の取り扱いの拡大とお客様への情報提供・購入支援
- ・自社独自の「アスクル商品環境基準」に基づく環境配慮型商品の企画・販売の推進
- ・「アスクル商品環境基準」に基づく商品環境スコアの算定および公開

4. 様々なステークホルダーとともに、環境への取り組みを推進してまいります。

■お客様をはじめとした各ステークホルダーとの環境コミュニケーションおよび取り組みを推進します。

- ・商品の環境情報を可視化し、お客様が環境負荷の少ない商品を選びやすい購買システムの提供
- ・ウェブサイト、カタログ・その他の媒体を通じた、安心・安全、環境に関連する情報の積極的提供、サステナブルな暮らしに対するご提案・啓発活動
- ・個人向け「LOHACO」サイト等によるお客様・企業などとの連携・協力による脱炭素社会・資源循環型社会の実現および生物多様性への配慮に関する情報発信と取り組みの推進

■市民、学校などの社外の方に対し、環境学習や実践活動の場や機会を多様な形で提供し、環境意識の醸成に貢献します。

- ・年間2件を目標に、教育機関に出張し環境教育を実施することによって環境人材の育成に努める。

■サプライヤーや販売代理店等の取引先に環境教育の機会を提供します。

■スタッフ・従業員への環境教育を実施します。

- ・環境に関する専門家を有する加盟団体との連携による社内での環境教育の継続的推進や、社会課題の解決のための人材育成の促進
- ・自治体との連携協定に基づく、スタディツアー等教育・啓発活動の実施

アスクル株式会社は、上記取り組みの進捗状況について
定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。